

議会

なかたね町

だより

第152号 令和元年8月9日発行

令和元年第1回臨時会 令和元年第2回定例会

議員の顔ぶれ・議長あいさつ ②～③

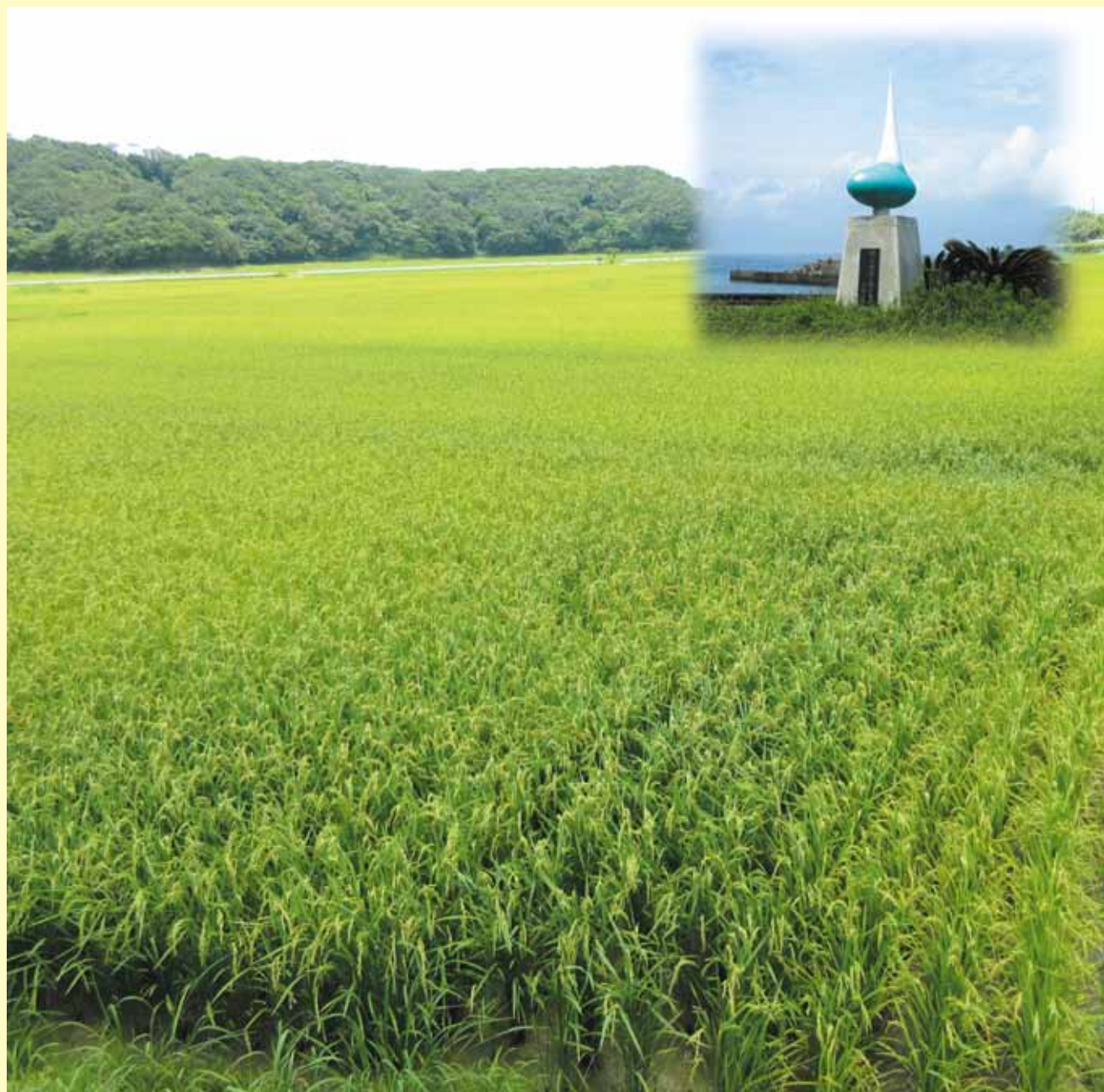
令和元年度補正予算 ④～⑤

一般質問（5人） ⑥～⑩

平成30年度専決処分・発議 ⑪

条例・その他・一部事務組合 ⑫

議会の動き・編集後記 ⑭



実りあふれる中種子

新議員の顔ぶれ

初議会が、5月1日に開会されました。

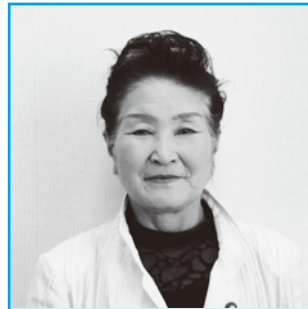
第22代議長に徳永留夫氏、副議長に園中孝夫氏が当選しました。続いて常任委員会と議会運営委員会の委員の選出、一部事務組合議会議員の選挙、議員選出監査委員の選任が行なわれ、議会構成が決定し、向こう4年間、町民の代表として議会運営に携わることとなりました。



徳永 留夫
3回（旭町）



園中 孝夫
3回（原之里）



戸田 和代
4回（二十番）



日高 和典
3回（新町）



迫田 秀三
3回（美座）



下田 敬三
3回（横町）



濱脇 重樹
3回（下田）



蓮子 信二
2回（池之平）



永濱 一則
2回（阿高磯）



池山 喜一郎
1回（中田）



橋口 渉
1回（浜津脇）



浦邊 和昭
1回（女洲）

4月21日執行の町議会議員選挙で12人の新議員が当選しました。
議員は、町民の代表者として議会運営に努めてまいります。

一部事務組合 議会議員

一部事務組合名	議 員 名		
中南衛生管理組合	徳永 留夫	園中 孝夫	迫田 秀三
熊毛地区消防組合	徳永 留夫	蓮子 信二	
種子島地区広域事務組合	徳永 留夫	園中 孝夫	永濱 一則
公立種子島病院組合	徳永 留夫	園中 孝夫	迫田 秀三
種子島産婦人科医院組合	徳永 留夫	永濱 一則	

議長就任挨拶



議長 徳永 留夫 氏

議長就任に際し、一言
ごあいさつ申し上げます。

この度、議員の皆さま
のご推挙によりまして、
中種子町議会議長の要
職に就くことになりま
した。誠に身に余る光栄
であり感激に堪えませ
ん。

私は、町議会議員とし
て経験も浅く、その器で
ないことも承知してい
ますが、僅差ではありま
すが、ご推挙いただきま
したことに感謝し、一身
を呈してそのご厚意に
報いる覚悟であります。
もとより浅学非才は十
分自覚していますが、全

精力を傾注しまして、議
員各位のご協力いただ
きながら、この大任を果
たしていきたいと考え
ております。

なお、議会の運営につ
きましては不倫不覚、公
平無私の立場を堅持す
ることを誓い、議員各位
には議案の審議に集中
することを求め、町政発
展の上に立つて、正しく
相携えて町民の負託に
応えていきたいと思ひ
ます。

令和という新しい時
代を迎え、全ての分野に
おいて、著しく変化が起
こる可能性が考えられ
ます。本町を取り巻く環
境も一層厳しくなりつ
つあります。ここ数年來
の台風襲来による基幹
作物であるさとうきび
の不作に伴う農家所得
の減少、公立種子島病院
の運営等々、問題が山積
しています。今後、引き



副議長 園中 孝夫 氏

続き積極的に力を入れ
て取り組んでいくこと
は、旧種子島空港跡地等
への自衛隊誘致活動で
あります。人が増えれば
町が活気づく。併せて救
急搬送体制の充実や災
害救助体制の整備など
にも繋げられるよう、国
に積極的に働きかけて
参ります。

町民の皆さまにおか
れまして、議会活動へ
のご理解をお願いし、ご
指導ご鞭撻を承ります
よう重ねてお願いを申
し上げ、就任のあいさつ
とさせていただきます。

総務文教委員会

委員長	蓮子 信二
副委員長	下田 敬三
委員	徳永 留夫
委員	日高 和典
委員	浦邊 和昭
委員	池山 喜一郎

産業厚生委員会

委員長	永濱 一則
副委員長	迫田 秀三
委員	戸田 和代
委員	園中 孝夫
委員	濱脇 重樹
委員	橋口 渉

議会運営委員会

委員長	園中 孝夫
副委員長	戸田 和代
委員	蓮子 信二
委員	下田 敬三
委員	迫田 秀三
委員	日高 和典
委員	永濱 一則

広報編集委員会

委員長	下田 敬三
副委員長	永濱 一則
委員	園中 孝夫
委員	浦邊 和昭
委員	池山 喜一郎
委員	橋口 渉

令和元年6月定例会

6月定例会は、6月11日招集され、6月20日までの10日間の会期で開かれました。

初日は、平成30年度補正予算等専決処分7件の承認、一般会計繰越明許費繰越計算書の報告、条例5件、辺地総合整備計画及び過疎地域自立促進計画の変更、令和元年度補正予算6件が原案どおり可決されました。

20日の最終日は、6人の議員（日高和典・浦邊和昭・下田敬三・池山喜一郎・橋口渉・戸田和代）が一般質問を行ないました。また、自衛隊誘致並びに馬毛島移設問題調査特別員会設置に関する発議1件を可決しました。

令和元年度補正予算

令和元年度一般会計当初予算は、町長及び町議会議員選挙の年であつたため、骨格予算として編成されていたことから、今回の補正予算で、町単独事業による普通建設事業等の投資的経費や町単独補助金等を計上し、当初予算に肉付けを行なうものです。

また、職員の人事異動に伴う人件費の調整、当初予算以降必要が生じた経費の追加と国県支出金などの内示決定による調整が主なものです。

歳入

国県支出金は、交付決定内示による調整が主なものです。

納入金は、各種事業に充当するため、文化スポーツ振興基金及びふるさと応援基金を増額。また、財源調整のため財政調整基金を増額しています。

町債は、事業の追加により増額調整を行っております。

歳出

「総務費」公共施設活用計画策定業務委託と地域活性化支援交付金の追加などを計上。

「民生費」プレミアムアツき商品券販売事業と中種子児童クラブ施設整備事業補助の追加などを計上。

「農林水産業費」サトウキビ機械導入等支援事業補助と産地パワーアップ事業を計上。

また、地籍調査事業については、補助金内示による事業費の減額を計上。

「土木費」町道坂井熊野線ほか2路線の工事、関連経費と屋久津川及び熊野川の護岸工事を計上。

「教育費」各小・中学校の体育館トイレ洋式化工事と中央体育館のマイクロスバス購入経費など追加による計上。

その他の特別会計及び事業会計の予算状況は、別表のとおりです。

[別表]

令和元年度会計別予算額

会計名（補正号数）		補正額	補正後の予算額
一般会計（第1号）		4億8,824万円	65億8,224万円
特別会計	国民健康保険会計（第1号）	900万円	12億3,085万円
	と畜場会計（第1号）	85万円	408万円
	介護保険事業会計（第1号）	2,821万円	12億2,314万円
	後期高齢者医療会計（第1号）	33万円	1億4,812万円
水道事業会計(収益的支出)(第1号)		△564万円	3億690万円

補正予算の主なもの



離島甲子園参加負担金
200万円



中種子児童クラブ施設整備事業
2,224万円



保健センター大規模改修工事
6,077万円



産地パワーアップ事業
4,051万円



納官浦用排水路工事
1,400万円



坂井熊野線道路改良舗装工事
7,000万円

その他 主なもの

◆〔総務費(地域開発費)〕	地域活性化支援交付金	1,500万円
◆〔民生費(社会福祉総務費)〕	プレミアム付商品券販売	6,250万円
◆〔農林水産業費(甘味資源振興費)〕	さとうきび機械導入等支援事業	1,779万円
◆〔農林水産業費(農道農地等維持補修費)〕	町単独農道舗装等工事	1,345万円
◆〔土木費(道路改良舗装費)〕	原之里線道路改良舗装工事	3,000万円
◆〔教育費(学校建設費)〕	小中学校体育館トイレ洋式化工事	1,146万円
◆〔教育費(保健体育総務費)〕	マイクロバス購入	848万円



田淵川 寿広 町長

町長 1カ所いずれば観光物産館が出来れば

副町長 年に1回ある

日高 お土産センターや道の駅設置について、とるべき対策状況は。

日高 公共用地跡地利用検討委員会の活動は、行われているのか。

熊野漁港防波堤計画の要望要請活動状況は
国、県に会議の際に要望要請活動をしている

行政改革の推進についての見解は
職員数は、定員管理計画に基づき年次的に管理を行っている

ICTとは・・・
「情報通信技術」のことを意味しています。

景気回復対策

観光産業による景気回復を実現すると述べているが具体的対策は

町長／交流人口の増加に期待が持てる

町長 現在調査中ですので、発言は控えさせていただきます。

町長 現在、排水路の土砂撤去・道路補修・草払い・整地作業を行っています。1区画が約2町歩で簡単な整地、芝を張るだけで1億近くの金額になります。現時点では、有効な補助事業が、見つからない状況です。

日高 旧南界中学校跡地の、利用状況と計画は。

副町長 現在は、南界校区朝市の女性部に貸しており、これからの計画は特にありません。



▲熊野漁港

日高 ICTの活用を図り、健全な財政運営をしなければならぬが、人であれば出来ない事も多々あります。推進していく上で見極め、将来の中種子町の姿を想像し機構改革に取り組んで頂きたいと思えます。

町長 本町は、観光資源が乏しく滞在時間が短い通過型の観光となつていますが自然景観・歴史と伝統・有形無形の資源など観光及び、交流人口の増加に期待が持てます。種子島特有のイベントを開催して愛好家や観光客など、交流も含めた誘客に注力していきます。

日高 2年半前の定例会で有効活用策も調査研究するとの答弁であったが、取り組みと活用策は。

熊野干拓地の取り組みと活用策は
該当する補助事業が見つからない状況である



▲熊野干拓地

町長 海岸保全施設による補助事業での実施は厳しいです。熊野漁港全体の整備要望、施設整備の要望を県としても重点的にやっていくという回答であり、今後とも要望要請は、続けてまいります。

町長 今年度は業務量調査の結果を踏まえ、さらに細かく状況を確認する為、調査結果事務分掌などを参考に各係の聞き取り調査を実施します。どのような機構改革となるか、まだはつきり、明確化にはなっていない状況であります。

日高 災害に強いまちと安心安全のまちづくりの推進を掲げているが、熊野漁港防波堤計画の要望要請の活動状況は。

日高 財政運営の厳しい中、事務事業の削減に努め、職員の適正な配置が必要で、ICTの利活用も解決策である。行政改革推進についての見解は

日高 観光産業などの充実による町内景気回復を町民の視点に立ち民意に寄り添いながら実現しますと、広報誌で述べているが、具体的対策は。

いいと思います。ある程度の需要の見込みと商工会の皆様方の意見も参考に、おこなっていく必要性があると考えています。

町長 苦慮している状況であります。



農業施策

キビの不作は地力低下が考えられるが

町長／大きな要因の一つであると考え

浦邊 和昭 議員

町長 ここ数年のキビ増産基金事業により、新植に堆肥散布、深耕作業、土壌改良資材散布、また株出しに土壌改良資材投入を実施しています。完熟堆肥を投入し、有機物の活性を図った上で化学肥料を散布すること効率的な土づくりができるのでは

浦邊 化成肥料の多肥化が進むと農家のコスト高に繋がるし、農家経営の圧迫になる。地力低下に関して見直しが大仕事ではないか。このことに取り組む計画はないか。

浦邊 近年のキビ・イモの不作要因は、自然災害等多数考えられるが、一つの大きな要因として長年にわたる地力低下が上げられると思う。化成肥料の多肥化、当然収量は増えていかなければならないが、キビ・イモ共に減収の傾向にある。町長の考え

町長 堆肥を投入すれば良くなる。一言で片づけられない問題です。現在ある農協の堆肥センターを利用できるものであれば有効活用し、地元畜産農家の牛糞、キビのフィルターケーキなどを利用し、安く販売できるところです。また、堆肥が不足しないようストックできる形が作ればと考えます。現時点では試験的に堆肥の実証試験を進めていく計

いかと考えます。しかし、完熟堆肥は価格が高く基金事業の補助等がないと、なかなか投入できない農家も多く見受けられるので、そのようなものを安くできないか検討しています。

浦邊 土づくりの一番の基礎は、やはり堆肥ではないかと思う。キビ作には増産事業により安価で散布までもしてもらえが、他作物においてはキビ作より多い面積となるわけで、もっと堆肥生産に力をいれてもらいたい。町長の考えの中に、そのような計画があるように思うが、少しは早く取り組む考えはないか。

町長 各種事業を導入して農業振興を図っていくということであり、この中に含まれるのが堆肥等の研究、キビ増産基金の発動もあります。それ以外にも町単独で予算対応措置もさせていただいております。そのようなことを進めながら収量を上げていく施策を行っていく必要があると考えます。農業の町という認識でいますので、農業が振興される農家の皆さまが活性化すること町全体の商工業を含め全体的な活性化が図られていき、観

面です。設備についても農協等を含め、県と協議をしながら進めてまいります。堆肥の大切さは十分認識しています。

浦邊 施政方針の中でキビ・イモ作などの不作為による影響の回復に努めることが急務であり、各種事業を導入し農業振興を図るとあるが、交付金の大幅アップこそが町全体・生産農家にとっても最速の方策と考える。1市2町はもちろん他島関係市町や県と連携し、国等関係機関への要望はできないか。

浦邊 機械化が進む中高齢化、そして生産意欲が落ちている中で、何が必要かと言えれば生産意欲を高めるための所得アップである。関係する県・市町に呼びかけながら取り組んでいくような方策はないか。

町長 国が現在行っている事業をしつかりと我々が噛み砕いて、農家の皆さまがそれらを使って所得を上げてい

く光産業にも波及していくものではないかと考えます。農業の町として何を行っていくべきかを考えながら進めていく必要があります。

交付金については、国内外の国際価格の動向及び輸入価格による関税の問題もあることから、大幅アップということとは大変厳しい状況です。国は農家を守るために各種補助事業等、多岐に渡り実施し、農家の所得安定に努めています。現状としては、交付金がこれ以上下がらないよう関係機関にお願いしています。各種補助事業を利用し、農家の皆さまの負担を少しでも軽減するよう努力してまいります。

くことが先決事項です。農家の皆さまにも現状の交付金のあり方、各種事業に対する考え方をご理解いただければと考えます。現状としては交付金下がらないようをお願いすること、そして農家の皆さまも自助努力、不作の要因を一つずつ無くしていく努力を自治体を中心となり、また議員の皆さまと共に解決していく対策が必要で、現状としては交付金に対する要望は出せる状況ではないということをご理解ください。

浦邊 確かに町長が言うとおり難しいことだとはわかる。しかし、あえてそれに望んでいただける町長であって欲しいと強く望む。



▲サトウキビ



池山 喜一郎 議員

水稻箱苗の継続的な供給が 危惧される。その対応は

町長／農協などの関連機関と協議し調整
している

水稻育苗施設
老朽化に伴う
再整備

池山 施設については南種子町長谷地区に種子島農業公社が事業主体となり、平成7年に国庫事業で整備し活用してきたが、24年が経過し育苗ハウスや育苗プラントの老朽化により水稻箱苗の継続的な供給が危惧される。平成30年度は水田・水稻農家とも約3割に供給しており、今後さらに利用率は向上するものと思われる。その対応は。

町長 水稻育苗施設については、平成7年に整備し、老朽化に伴う播種プラントなどの故障等により、毎年、対応に苦慮していると聞いており、早急に対応しなければならぬと理解しています。

しかし、施設には多額の費用と場所の選定など、様々な課題もあることから、令和2年作については、現施設の修理等を行い、現状で対応したいと考えています。また、新しい施設については、中種子町の水稲農家の利用が大変多いため、本町に整備するのが最良と考えています。整備

については、既存の農協育苗施設の有効利用等を含め、農協などの関連機関と協議をしながら検討し、令和3年作には新しい播種プラントが使用できるような体制をとるよう調整しています。

池山 具体的に令和3年作から新しい施設が使用できるようにすると伺ったが、その実現に向けて、町も相当な予算化が必要と思われるが、何か補助事業等の活用はできないか。

町長 農業公社が運営している事業があり、ます。これに関しては、町単独の一般財源から全額の繰り出しとはいかないわけで、当然、補助事業を使い、進める必要があると考えています。

池山 農業公社は、公益財団法人であることから補助事業の事業費における町や農協の負担割合は積極的なものにしていただきたい。水稻農家の安定化を図り、水稻農家の不安を払拭するために、全力を期し

ていただけることに期待する。

堆肥・混合粗飼料を供給する施設整備が急がれるが、その対応は
安価な堆肥が供給できるように検討を進める

池山 基幹作物サトウキビの低単収が続く長いトンネル脱せられない状態である。その要因として台風などの気象災害や機械収穫での株痛み等も列挙されるが、サトウキビを収穫した量に見合う堆肥等を補っていないことにある。堆肥を散布したくても補助事業でないと高価でなかなか手が出ない状況であり、このことから、地元の牛糞を活用した安価で良質な堆肥を供給する施設の整備が急がれるが、その対応は。

町長 キビ甘藷等に対する危機感を持つています。農協の堆肥センターなどを含め有効活用により、安価な堆肥が供給できるように検討を進めてまいります。様々な補助事業を見つけ、農家の皆さまに還元する

ことが大きな役割だと認識しています。一方で単収8トン、糖度13度台という農家がいる現実も農家の皆さまがしっかりと考えていかないとならない部分であり、適期の植付けや管理作業ができないのは、なぜか。しっかりと考えて、皆さまと協議し見直していく必要があると考えます。

池山 中種子町におけるサトウキビの春新植は毎年300ha程度計画されている。それに必要な堆肥は6千トで施用時期が12月から2月の3ヶ月間である。この期間は、運転手不足に併せ、貨物フェリーが生活物資を優先するなど、堆肥の移入が困難な時期である。移入が容易な時期に多量に搬入し適期に使用できるように、既存の農協の施設を活用するにしても備蓄施設の増築が必要で、それに合わせ、堆肥の袋物での利用を考えるとペレット・トマシンやペレット・バラ物を袋詰めする機械の増設が必要と考え

さて、先般先進地の調査研究に行かれたと伺ったが、その結果について説明を求める。

町長 祁答院町で5000頭肥育をしている肥育農家さんが堆肥をどのように処理しているか見てきました。ここでは発酵菌を活用して80℃を超える温度で短期間に堆肥化しており、雑草の種子や雑菌を死滅させ、臭いも全くない完熟堆肥ができていました。発酵菌を活用することを考慮すると、この堆肥に限定しませんが、そのような堆肥を半分移入して半分は地元の家畜排泄物を集めて、それを混ぜ込んで完熟化させるやり方が今のところ一番良いのではないかと考えています。

池山 バカスについても原料堆肥を提供する農家へ優先して供給するなど、良質な堆肥を安価で生産できる体制に取り組むことに期待する。

その他の質問
「畜産振興策について」



超高齢社会化問題の取り組みは

町長／高齢者の社会参加を促す

橋口 渉 議員

町長 町内には、介護支援専門員の資格を有している方が36人おり、そのうち居宅介護支援事業や施設等に勤務している方が31人と把握しています。居宅介護支援事業所は1人の介護

橋口 要介護者の増加とは逆に介護支援専門員の減少が見られていて、介護支援専門員の減少問題の取り組みは。

町長 地域で支える仕組みづくりとして高齢者の地域における生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加を促すことにより、将来的に元気な高齢者を増やし、要介護者を減らすことで、介護支援専門員（ケアマネージャー）介護サービスの事業所スタッフの負担軽減に努めます。

橋口 超高齢化社会を迎えることに對し、質の高いサービスの提供と適切な給付の保持・健全な介護保険事業の運営を維持していくとあるが、具体的な説明を。

橋口 町としても事業所との話し合いの場を設けていただき、増える

支援専門員で法律上可能な件数のケアプラン作成を行っており1人にかかる負担が大きくなっているとの認識しています。島内には種子島地区介護支援専門員協議会という組織もあり、包括支援センターの職員も会員として協議会に加入していますので、種子島支部内での研修会などを通じて改善事項の検討協議を行うことも可能かと考えます。今後、協議会と連携を密に図り介護支援専門員の支援を行っていく事で、質の高い介護サービスの提供が図られると考えます。行政としては可能な範囲のサポートはしていきますが、事業所の思いや考えがあることから、行政に対してどのような要望があるのか、行政でできることであれば、全力でサポートし、役場雇用も含めた協力体制を構築していく必要性はあると考えます。

進し、高齢者の生きがい

町長 福祉の里を拠点とし、様々な福祉活動も展開しています。高齢者に対する施策に関して、介護予防事業を推進し、元気高齢者の増加に努めると共に、老人クラブの育成や活動の活性化支援、シルバー人材センターの活用により就労の促進など各種の生きがい作り活動等を促進し、高齢者の生きがい

橋口 福祉の町づくりを推進するために、障害を持つ方々、高齢者の方々が働ける場所の改革や地域で支え合う構想の考えはないか。

町長 障害を持つ方、高齢者が働ける場所の改革や地域で支えあう構想の考えは

であろう要介護者のケアをどのようにしていくか、今後、考えていく必要がある。健全な介護保険事業の運営の維持がうまく機能していくことを望む。

と安心の向上に努めています。

障害を持つ方に対する施策については、障がい者の就労支援、就労機会確保による自立支援対策や相談支援体制の強化などの各種施策を進めています。

橋口 生きがいの持っている、自身の都合で仕事ができる就労の場を設けていただければ高齢者の方々も生きがい作りになると思われる。障害を持つ方々、高齢者の方々が、働ける場所を確保していただくことをお願いする。

橋口 利用できる方はお願いするのにも心苦しいところもあります。職員が快く対応してもらえよう教育をお願いする。

町長 エレベーターの設置が建物の構造的に可能か、建設費用、そして、毎年度点検が必要になってきます。足の不自由な方々が2階に用事のある場合には町民課の窓口において対応等できるようにしています。



▲福祉の里

「福祉のまちづくり」にまだまだ多くの問題が山積している。住みやすい町づくりを推進することにより人口増加もつながるかと考える。

橋口 利用される方はお願いするのにも心苦しいところもあります。職員が快く対応してもらえよう教育をお願いする。

町長 エレベーターの設置が建物の構造的に可能か、建設費用、そして、毎年度点検が必要になってきます。足の不自由な方々が2階に用事のある場合には町民課の窓口において対応等できるようにしています。

地域公共交通
機関対策

地域公共交通の見直しを

町長／コミュニティバス・路線バスは
1市2町で検討中

戸田 和代 議員

戸田

地域公共交通機

関として、交通弱者、または買い物弱者と言われる方々の通院や買い物など日常生活における移動手段としてコミュニティバスが運行されている。そのバスをコンパクトにして集落内まで運行できる対策を行っていかねければならない。全国的にも高齢者の事故が多発している。

町長は、施政方針でコミュニティバス及び路線バスの交通網の整備・充実を図ると述べているがどのようなことか。

町長 公共交通機関の運行は、人口減少に伴い、民間事業者の経営環境の悪化や町の財政負担の増加など取り巻く環境は厳しさを増してきており、連日のように高齢者の事故が報道され、様々な議論が交わさ

れています。地域公共交通をどのように運行していくかは重要な課題です。思い切ったルート変更、ダイヤの見直し、ダイヤ設定、運行頻度の見直し、地域の実情に応じた対応を検討しています。

また、地域幹線バスの西之表南種子線は、利用者が少ないため、国庫補助事業が受けられず、1市2町による赤字補填が続いています。高速船やフェリーへの接続、通院、観光客の足となり、陸上交通路線として必要であり、昨年度から1市2町が事業主体となり、バスの小型化を初め、路線をどのように見直すか協議研究等を進めています。

戸田 内閣府が調査の結果、80歳以上の方の4人に1人が車を運転しており、小規模の自治体

ほど多いという結果であり、まさに中種子町もその分野に入り、交通機関が乏しいからと考える。厳しい財政状況の中から、大きな予算を計上しなければならず、費用対効果までは行かなくても、住民に応じた利便性を考えて取り組むべきでは。

町長 確かに費用対効果というわけではないが、運行に関する法的な問題など含め、県の交通政策課並びに陸運支局、運輸支局などと密に協議を行い、方向性を打ち出したいと思っています。

戸田 予約型乗合タクシーの料金は距離で決まっているのか。

企画課長 片道で、5km未満200円、5kmから7.5kmは300円、10km以上は500円で

す。契約は、年度更新で毎年行っています。

戸田 コミュニティバスの通っている所は、乗合タクシーが使えないシステムになっているため、スピーディに検討していただきたい。

町長 急ぐべき問題であり、可能な限り早めの対応を考えています。参考までに民間企業が地域貢献でできる何かがないかと考えている中で、種子島を一つのモデル地域として、というような提案もありますので、連携しながら検討していく必要があると思います。

戸田 ぜひ小型バスを近い将来、運行できる施策をとっていただきたい。



▲タクシー



▲コミュニティバス

平成30年度補正予算

一般会計総額

67億8950万円

■一般会計等5件について補正予算が承認されました。

一般会計(第8号)

歳入

地方交付税や各交付金の確定による調整です。

歳出

事業費確定による不要額の調整が主なものです。

歳入歳出予算それぞれ1億2983万円を減額し、総額67億8950万円とするものです。

その他の特別会計及び事業会計の予算状況は、別表のとおりです。

平成30年度会計別予算額

【別表】

会 計 名 (補正号数)		補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第8号)		▲1億2,983万円	67億8,950万円
特 別 会 計	国民健康保険会計(第5号)	▲2,997万円	11億9,268万円
	介護保険事業会計(第5号)	▲1,903万円	11億4,429万円
	後期高齢者医療会計(第5号)	▲95万円	1億4,846万円
水道事業会計(収益的収支)(第5号)		386万円	2億6,463万円

発議

発議第3号

●自衛隊誘致並びに馬毛島移設問題調査特別委員会設置

【提出者】

園中 孝夫 外10名

【趣旨】

自衛隊誘致については、平成19年9月定例議会において採択しており、緊急搬送や大規模災害発生時における町民の安心安全につながり、さらには、人口減少対策や地域経済の活性化に寄与するものと考えている。

また、馬毛島問題については、今後も公平中立な立場で関係各機関から十分な説明を受け、町民に対して、移設問題の正確な情報を提供することが望ましいと判断するための調査を目的とします。

条例

中種子町税賦課徴収条例の一部改正

【軽自動車税のグリーン化特例の見直し、ふるさと納税制度の見直し、住宅ローン控除拡充、子供の貧困に対応した個人住民税の非課税措置】以上のほか法令改正に伴う所要の条例の改正をするものです。

中種子町森林環境与税基金条例

令和元年度から各自治体への譲与が開始される「森林環境譲与税」の創設に伴い、税の受け皿として基金を創設するものです。

中種子町介護保険条例の一部改正

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律による介護保険法の改正に伴い実施される、令和元年10月から消費税率の引き上げ

委員長 濱脇 重樹
副委員長 迫田 秀三
委員の定数 11名

に伴う低所得者の介護保険料の軽減強化として、第1段階の軽減割合を増加すると共に第1段階のみであった軽減対象者を第1段階から第3段階までの対象者の拡大するものです。

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

働き方改革を推進する為の関係法律の整備に関する法律が施行され、その中で労働時間に関する制度の見直しがされ、時間外労働の上限が設定されまし

た。それに伴い職員の勤務時間についても、同様の上限を設ける条例の改正を行うものです。

認可地縁団体印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

認可地縁団体の台帳及び印鑑登録証明書については、紙媒体・手作業による管理・証明書発行を行っているまま

す。台帳管理・印鑑登録・印鑑証明書の発行などをシステム化することとなり、所要の改正を行うものです。

災害弔慰金の支給に関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正により、3%に固定されています災害援護資金の貸付利率について、市町村が条例で定めることができることとなりました。市町村の政策判断に基づき、

低い利率での貸付が可能となり、被災者の返済負担を軽減することで、被災者支援の充実強化に資することから、条例の一部を改正するものです。

町長の給与の特例に関する条例

財政健全化の為に、町長の給与を10%削減するものです。

その他議案

平成30年度一般会計繰越明許費計算書について

【総務費】

● 風力発電修繕

【民生費】

● プレミアム商品券販売事業費

【農林水産業費】

● さとうきび増産対策農道等保守事業

● 基盤整備促進事業

中山地区

【土木費】

● 小牧池之久保線維持補修事業

● 満足山広ヶ野線維持補修事業

● 坂井熊野線改良舗装事業

● 大平中山線改良舗装事業

● 梶潟1号線改良舗装事業

● 熊野1号線米川橋外13橋りよう修繕事業

● 公園長寿命化対策事業

● 公営住宅長寿命化対策事業

● 阿高磯川河川改修事業

● 自然災害防止事業

● 【教育費】

● 岩岡小学校屋内運動場大規模改修事業

● 小学校空調設備新設事業

● 中学校空調設備新設事業

● テニスコート改修事業

● 6億1166万6千円

繰越額合計

中種子町辺地に係る整備計画の変更について

町道梶潟1号線改良舗装事業を追加し、職員住宅建替事業は野間小学校教職員住宅改築事業へ事業名及び事業内容の変更を行うものです。

また、さとうきび増産対策農道等補修事業・子ども子育て支援施設整備事業・水槽付消防ポンプ自動車整備事業を新規に追加するものです。

新規事業として農業・農村活性化推進施設等整備事業・温泉保養センター改修事業・都市計画マスタープラン等見直し事業・さとうきび収穫コスト支援事業・さとうきび増産

支援緊急対策事業・中之町猪鹿野線舗装修繕事業・満足山広ヶ野線舗装改修事業・浄水場改良事業・消防防災施設等整備事業・子ども子育て支援施設整備事業・中央体育館屋根改修工事事業・小中学校ICT関連機器導入・全国離島中学生野球大会負担事業・地域活性化支援交付金事業を追加するものです。

中種子町の識見監査委員として、引き続き利水幸光氏への同意がなされました。今後、4年間の任期となります。

監査委員選任の同意

監査委員選任の同意

監査委員選任の同意

監査委員選任の同意

監査委員選任の同意

監査委員選任の同意

監査委員選任の同意

監査委員選任の同意



▲中央体育館



池山 喜一郎 委員



利水 幸光 委員

議員選出の監査委員として、池山喜一郎氏への同意がなされました。今後、4年間の任期となります。

議会議員（政治家）が町内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

有権者が寄付を求めることも禁止されています。

これに違反すると処罰されます。

※ここでいう「政治家」とは、現に公職である人に加え、候補者や候補者になろうとしている人も含まれます。

みんなで徹底しよう「三ない運動」

公職選挙法では、お金のかからないきれいな選挙の実現をするために、選挙に関係あるなしにかかわらず、政治家（候補者等や政治団体）が選挙区内で寄付行為をすることを原則禁止しています。

次のような行為は違反になります。

- 落成式、開店祝いや葬式の花輪、供花。
- 地域の行事やスポーツ大会への寄付や差入れ。
- お祭りへの寄付や差入れ。
- 本人が出席しない場合の結婚祝いや香典。
- お中元やお歳暮、年賀。
- 出産、入学、卒業、就職など、お祝いの金品の贈与。
- 病氣見舞い。
- 町内会の集会や旅行など催物への、寸志や飲食物の差入れ。



贈らない・求めない・受け取らない

中種子町議会では、平成 23 年 12 月に「政治倫理の遵守に関する決議」を行っています。本決議をふまえ、自らを厳しく律し、一層公正かつ高潔な職務遂行に努める所存でございます。町民の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。



議会傍聴においでください。

令和元年9月議会は11日に招集される予定です。

町民の皆様には町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。

開会日前には防災無線でお知らせします。

議会の動き

6月

8月

4日 議会運営委員会

10日 全員協議会

11日 6月定例会（20日まで）

14日 議会運営委員会

3日 よいらーいき祭り

7日 熊毛郡町議会議長会臨時総会

種子島屋久島議員大会臨時総会

8日 市町村政研修会

28日 議会広報研修会

7月

1日 熊野海水浴場安全祈願祭

4日 熊毛地区消防組合議会臨時会

種子島産婦人科医院組合

議会臨時会

種子島地区広域事務組合

臨時会

7日 県民体育大会熊毛地区大会（1日目）

11日 正副議長研修会

14日 県民体育大会熊毛地区大会（2日目）

16日 産業厚生常任委員会所管

21日 参議院議員選挙

23日 町小学校水泳記録会

総務文教常任委員会所管

事務調査（25日）

お知らせ

議会の映像中継について

中種子町議会では、議会の活性化を図るため、本会議中は、庁舎1階ロビーに設置しているモニターテレビで本会議の様相を放映しています。

議場に入れない場合や役場へお越しの際は、是非ご覧ください。（開会中に限ります）

編集後記

平成31年4月に議会議員選挙が行われ、定数減により12名の議員が当選しました。

地方自治制度においては、主権者である町民が執行機関の町長と議決機関である町議会の議員を直接選挙で選び、町民が間接的に行政運営に参加するとなっています。

町長と町議会は、車の両輪のように協力をするとともに、相互に牽制し合うことにより、民主的な行政運営がなされるよう努力いたします。

下田 敬三
広報編集委員会

委員長 下田 敬三
副委員長 永濱 一則
委員 園中 孝夫
浦邊 和昭
橋口 渉
池山 喜一郎

